



院内保育所

大阪府 堺市

# 社会医療法人 同仁会 耳原総合病院



## 病院 PR ポイント

優しい主治医力と確かな当直力を身に付ける。研修中は研修医を一人にしない環境である。



## 求める人物像

主治医として患者に対して真摯に寄り添い、社会に貢献しようと熱意を持ち、多職種と共に学び合い教え合う意欲を持った人。



当院は、急性期を担う地域の中核病院である。病院理念の一つとして「地域とともに歩む専門職の育成」を掲げ、人材育成を重視した運営を進めている。研修においては、研修医を「一人にしない」環境で、医師の土台「主治医力」、「救急の力」、「当直力」を修得できることが特徴。重視している点は、主治医制度（見て学ぶのでなく研修医自身が方針決定）/EBM重視/症候からのアプローチ/感染症/継続性あるローテートなど。また、病院運営に参加、応援しようという人々による「健康友の会みみはら」は3万5,000世帯の会員を擁し、共に臨床に関するガイドラインの議論を進めるなど、医療者だけでない多様な視点で議論できる環境も特徴的。一貫して室料差額を取らずに病院を運営してきたことが当院の誇りである。病気だけを診るのではなく、一人の人間として患者と向き合う当院のスタイルは、充実した卒後初期研修に最適なフィールドと考えている。

### ■ 病院長名

奥村 伸二（徳島大学）

### ■ 所在地

590-8505  
大阪府堺市堺区協和町 4-465

### ■ 交通手段

南海高野線堺東駅より南海バスで「塩穴通」下車 西へ徒歩5分

### ■ 病床数

386床

診療科	内科・総合診療科	救急総合診療科	呼吸器内科	循環器内科	消化器内科（胃腸科・肝胆膵）	腫瘍内科	腎・糖尿・代謝・膠原病内科	呼吸器外科	心臓血管外科	消化器外科	乳腺外科	整形外科	脳神経外科	小児科	産婦人科	泌尿器科	放射線科	病理診断科	麻酔科	緩和ケア	集中治療科	歯科口腔外科	皮膚科	眼科	精神科	合計
医師数	14	2	1	7	5	1	5	1	2	5	1	4	1	7	9	4	1	2	4	2	1	1				80
指導医数	4	2	1	2	2		2	1		2	1	1	1	2	2			1	3		1					28
外来数																										0
入院数																										0

※外来数、入院数は1日平均（未記載）



37.6人

救急外来患者数（1日平均）



17人

救急車搬送患者数（1日平均）



87人

心肺停止状態搬送患者数（年間）

[当直開始時期]

1年目4月

[当直時の勤務体制]

研修医以外の  
当直医数

5名

産婦人科、小児科、ICU当直医を含む。  
当直明けの午前中に研修医が診た症例を振り返り、上級医のフィードバックを受ける。

● 当直回数...2~4回/月 ● 当直料...1年次 10,000円・2年次 18,000円

**研修 DATA**

**■ プログラムの特徴**



医療面接・身体診察、カンファレンスを通じての方針決定、社会的な問題も配慮する視点や、ベッドサイドに頻りに足を運び、指導医と議論を重ねて主治医としての役割を果たせるように指導する。各診療科修了時に振り返りと評価がされる。総合内科では2週間に一度、ER・当直研修・プリセプター外来では全例で振り返りをする。日当直研修は4段階でステップアップ。3回の進捗評価で「独り立ち」を目指す。外来研修や往診なども含めた地域と密着した医療で多角的に診る点と、一定の専門的な医療にも関われる環境が、最適な研修条件を保障する。研修目標は「優しい主治医力」と「確かな当直力」を身に付け、地域に貢献できる医師になること。主治医としての姿勢を身に付け、ER・当直などさまざまな場面で初期対応ができるため、以下の能力を修得する。

- (1) 病歴・身体所見からの臨床推論や状況に応じた適切なプレゼンテーションなど、将来進む科にかかわらず必要とされる基本的臨床能力を修得する
- (2) 良好な患者-医師関係を構築でき、医療チームの一員として円滑に業務を行えるマナーやコミュニケーション能力を修得する
- (3) スーパーローテートを経験することで患者の幅広い健康問題を扱い、自ら学習し成長する姿勢を身に付ける
- (4) さまざまな困難を抱えた患者に多面的・総合的なアプローチを行い、患者とその家族に寄り添い問題解決を行う姿勢を身に付ける

**■ 指導医の主な出身大学** 出身大学に偏りはなし

**■ 研修医数**

1年次	男5名	女2名	合計7名
2年次	男4名	女3名	合計7名

※2019年4月時点の研修医数

**■ 研修医の主な出身大学**

1年次	関西医大、愛媛大2名、高知大、神戸大、京都府立医大、弘前大
2年次	大阪大、大阪医大、奈良県立医大、愛媛大、福岡大、大分大、琉球大
以前	徳島大、香川大、近畿大、大阪市立大、滋賀医大、高知大、昭和など

**■ 研修修了後の進路**

2019年実績:耳原(内科)、大阪大産婦人科(耳原連携)、近畿大(麻酔科、泌尿器科)、関西労災(産婦人科)、北野(神経内科)、大阪市大(神経内科)。新専門医制度以前は、各科で後期研修を実施。外部研修も積極的に実施

**研修スケジュール**

**■ 初期研修プログラム**

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1年次	導入研修	総合診療科	救急	外科	産婦人科	小児科	麻酔	内科				
2年次	総合診療科	精神	選択	地域医療	外来研修	救急	選択					
備考	*選択科は複数項目より選択可 *地域医療は大阪民医連内事業所にて研修											

**募集要項・給与・福利厚生(待遇)**

**■ 応募資格**

医師国家試験合格予定者、マッチングプログラム参加者、その他(病院見学または実習体験)

**■ 採用予定人数**

1年次7名

**■ 身分**

常勤職員

**■ 給与**

1年次月額 409,000円(賞与あり)・2年次月額 429,000円(賞与あり)(税込、手当含む)

**■ 休暇**

年末年始休暇、生理関連休暇、4週6休

**■ 有給**

年間17日

**■ 夏休み**

5.5日

**■ 保険について**

公的医療保険、公的年金保険、労働災害補償保険あり

**コメント**

**2年次初期研修医**

当院における研修では「研修医を一人にしない」を合言葉に手厚い指導がなされます。研修医が導入研修後、ローテートする総合病棟研修では、研修医が主治医として各症例を担当します。初めは主治医としての重圧に苦しむこともありますが、総合病棟専属の指導医にいつでもコンサルトできる環境が整っており、適度な責任を感じながら医療面接・身体診察・方針決定、病状説明など必要な知識・技術を獲得していきます。また、医局内の雰囲気は非常にフレンドリーで各科の垣根もなく、自分が担当する患者様に関して専門医にコンサルトしやすい環境が整っています。また、救急外来研修の特色としては、当直後に毎回指導医との振り返りの時間が設けられているため、反省点を明確にして次回にしっかり生かせる研修となっています。このような指導体制を背景に、Common Diseaseの対応に関して基本からじっくり力を付けていくのに最適な病院であると私は感じています。

**外科指導医**

初期研修終了後すぐに専門科研修に進むことが一般的ですが、当院では後期(3年目)に選択科を必ず決める必要はなく、専門研修に入る前に研修したい科を自分で選択して3ヶ月~半年単位くらいでローテートすることができます。私の場合は3年目の後期研修では消化器外科、呼吸器外科、麻酔科を4ヶ月ずつローテートしました。外科が自分に向いているか確信がなかったため、選択研修という形をとっての研修でした。その研修中に外科医になると決めたので、専門研修に入るまえに麻酔科研修も行いました。4年目からは外科専門研修として消化器外科に所属しながら、肺、乳腺甲状腺の手術も経験することができ、とても充実しています。当院では初期研修から後期研修まで連続した形で研修を自分で組み立てることができるので、まだ何科になるか決めていない人や専門研修の前にまだ学びたい事があるような人には最適だと思います。

**試験情報**

**24名**

**7名** (男5名 女2名)

受験者数(2018年度合計)

マッチング人数(2018年度合計)

- 実施日程 7月27日、8月10日、17日
- 試験内容 筆記(英語あり英語なし  
小論文その他 ※別途、面接あり
- 受験時の宿泊 ホテル・旅館を紹介病院施設なし

**病院見学**

- 実施時期 随時(土・日・祝日を除く)
- 対象学年 4年5年6年その他
- コース 日帰りコース宿泊コース応相談
- 見学時の宿泊 ホテル・旅館を紹介病院施設なし
- 交通費支給 あり(全額)あり(一部補助)なし
- 申し込み方法 当院ホームページの申し込みフォームより申し込み

より詳しい研修情報や病院見学に関するご質問はこちら

TEL  
E-mail

医局事務課 医学生担当  
072-241-0501  
igakusei-1@mimihara.or.jp

WEBで  
チェック

詳細な研修情報  
資料請求・見学申込

